

インターネットガバナンスフォーラム 2015 への参加のご案内

インターネットガバナンスフォーラム(Internet Governance Forum:IGF)は、マルチステークホルダーによるさまざまな立場の関係者が参加し、インターネットガバナンスに関する議論を行う場です。誰でもが参加できます。今年のIGF2015は、2015年11月10-15日ブラジル、ジョアンペソアで開催いたします。

IGFのプログラムは、マルチステークホルダーが参加するインターネットコミュニティが企画したワークショップセッションにより、主に構成されています。現在、セッション企画を2015年3月30日まで募集していることをご案内します(この期日を過ぎた応募は受け付けられませんのでご注意ください)。

- Workshop Submission Form (ワークショップ企画応募フォーム)

<http://www.intgovforum.org/cms/workshop-proposals/igf-2015-workshop-proposal-submission-form-template>

Multistakeholder Advisory Group(MAG : マルチステークホルダーなメンバー構成により IGF のプログラムを検討するグループ)は今年、ワークショップ企画応募の選定プロセスに関する重要な変更を数点行いました。これらの変更は下記の「ワークショップ応募者が考慮すべき 10 項目」にも含まれています。すべてのワークショップ企画の応募者は、応募にあたって次の 3 文書に加え、

- 2015 Workshop Proposal Guidelines

<http://www.intgovforum.org/cms/workshop-proposals/igf-guidelines-for-workshop-proposals-2015>

- Outline of Session Formats

<http://www.intgovforum.org/cms/workshop-proposals/session-format-outline-2015>

- MAG Workshop Review and Evaluation Process

<http://www.intgovforum.org/cms/workshop-proposals/mag-workshop-review-and-evaluation-process-for-igf-2015>

以下の、「ワークショップ応募者が考慮すべき 10 項目」をご確認ください。

■ワークショップ応募者が考慮すべき 10 項目

1. 新しいセッション形式の採用 : MAG は、多様性が増し、参加者との意思疎通につながる新しく画期的なセッションの形式を求めています。今年 **Break-out** 形式でのグループディスカッション、ディベート、ラウンドテーブル、**BoF**、**Flash** セッションのいずれもが、セッションの形式として選択可能です。また、自ら形式を提案することも可能です。バックグラウンドペーパーを必要とする従来の形式(第 7 項参照)に加え、これらの六つの形

式をさらなる選択肢として追加しました。

2. IGF への未経験者からの応募歓迎 : IGF での議論に新たな声を呼び込む試みとして、応募の選考で初回のワークショップ企画者からの応募が優先されます。

3. 後発開発途上国を含む途上国からの応募者の方へ : IGF の多様性を促進するため、途上国からの応募が優先されます。

4. セッションの必要性和セッションのあり方を明確に : 提案がインターネットガバナンスにおけるどの課題を取り扱い、どう議論されるのかが明確であることが重要です。

- **Why(なぜ)**:セッションで取り扱う予定であるインターネットガバナンスの課題に関する、簡潔な説明を提供してください。

- **How(どのように)**:提案しているセッション形式を通じて、その課題をどう取り扱うのかの説明をお願いします。
例えば、「忘れられる権利」を議論するセッションであれば課題のどのような側面が議論されるのか、主な論点、どのような立場や見解を紹介するのか等が挙げられます。さらに、各論者の時間配分、モデレータおよび登壇者も含めた議題を提供してください。

5. セッションの長さを的確に : 選択ワークショップには 30 分、60 分、90 分のセッションがあります。あなたのセッションに最適なものを選んでください。例えば、あるトピックについて手短な発表を行いたい場合は 30 分の Flash セッションが適切な長さや形式と考えられます。パネルセッションはより長い時間が必要です。形式により長さが異なりますのでご注意ください。セッションの各形式は以下よりご確認ください。

- <http://www.intgovforum.org/cms/workshop-proposals/session-format-outline-2015>

6. リモート参加対応の予定 : IGF はグローバルに議論を行うため、その場にはいない人も参加できる必要があります。今年 MAG は、リモート参加にどう対応するのか、リモート参加者対応のモデレータが推薦されているのかなど、応募者からのリモート参加対応の計画を特に確認します。あなたの地域のインターネットコミュニティのメンバーが「リモートハブ」を提供する予定があるのかを確認し、連携することも可能です。

7. パネル形式のセッションにはバックグラウンドペーパーが必須(他の形式は

任意)：今年から、パネル形式でのセッションの応募にはバックグラウンドペーパーを必須とする要件を取り入れました。パネル形式でのセッションを応募する場合、バックグラウンドペーパーは必須です。ペーパーに関するガイドラインは★★こちらより(URL TBC)★★ご確認ください。

8. 報告者(Rapporteur)を指定：今年からすべてのワークショップにおいて、セッションのサマリーレポートを策定する報告者が必要となります。レポートはIGF開催後2週間以内にIGF事務局へご提出ください。レポートが提出されない場合、当該ワークショップの応募者はその後のIGFへの応募が認められなくなります。
9. 提案時の登壇者/発表者の確定は必須ではありません：提案時点で、登壇候補者にIGFへの参加の確定を求めることが困難である事情をMAGは理解していますので、確定は必須ではありません。各登壇者/発表者のワークショップセッションにおける役割が説明されていることがより重要です(例：ある発表者は課題について技術的な専門性を共有し、他の発表者は経済的な検討事項を取り扱う等)。
10. お困りのことがあればご相談ください：提案の提出にあたり、ご不明な点などがありましたら、IGF事務局<igf@unog.ch>までご連絡ください。

最後に：IGFに参加する上で、ワークショップの企画または登壇は必須ではありません。ブラジルでのIGFに向けてすべての関係者からの参加を歓迎いたします。IGFに関するすべての情報はこちらよりご覧いただけます。

<http://www.intgovforum.org/cms/>

以上